街歩きヒストリア

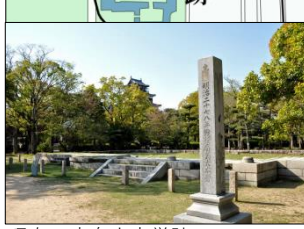
飛行機より見たる広島大本営跡　広島市公文書館所蔵絵葉書

⑤ 広島大本営跡

日清戦争の折、大本営は広島城内に移設されました。それにより、広島は臨時首都の様相を呈するようになりました。

「たむろして よなよな見てし 廣島の 月はその夜にかはらざるらむ」。 1894年に広島へ移り、ここで政務を執った明治天皇が詠まれた一首です。

大本営は 1945 年の原爆で倒壊し、現在は建物の基礎の石組みが残っています。平成から令和に元号が変わった今、時代の流れを改めて感じさせられる場所です。　（文・小川敏明さん）



現在の広島大本営跡

中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。

HP（検索：広島市中央公民館）にバックナンバーを掲載しています。ぜひご覧ください